

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ しょうほうし



「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 40

ぶるーむ.com

2018.8

なつごう
夏号

～ じぶん せいかつたの 自分の生活楽しんでいますか？ ～ もうしょ ま 猛暑にも負けず・・・。



CONTENTS

P2 40号記念記事ごうきねんきじ

P3 いただきまつき栄二えいじ

P4 Oh-Life!! 特別編とくべつへん

P6 意のまま気ままな独り言い き まま な ひとごと

P9 活動報告・義援金報告かっどうほうこく ぎえんきんほうこく

◆「ぶるーむ」の由来◆

英語のbloomをひらがな表記したものです。
bloomには、「(花が)咲く」「(才能・事業などが)花開く」などの意味があります。この北九州の地で、自立生活の土壌をあらためておこすことから始め、それぞれの自立生活の種を植え、色とりどりの自立生活の花が咲きほこるという願いをこめました。

2018年10月で自立生活センター ぶるーむは設立から11年が経過する。長かった
ようで短かったという感慨もなく、日々の活動に明け暮れている。これが私の素直な感想
なのだが、今回は少しかぶるーむの11年間の歩みを振り返ってみたい。と言っても、私
はぶるーむの設立メンバーではない。私がぶるーむの正式メンバーとなったのは設立から
2年目のことで、代表に就任したのは2014年1月からなので、代表としてぶるーむの
11年を振り返ることはできない。なので、ここでの振り返りは、私がぶるーむに関わっ
てから様々な立場を経ながら見てきたものが中心になる。

私とあいえるとの出会いはぶるーむ設立以前、前身団体の頃に遡る。私はヘルパー
ステーションあいえる(前身団体の介護派遣部門)の「お客様」に過ぎなかった。「お客様」
の目からみた当時のあいえるは、男性ヘルパーが多く、融通が利く、ちょっといい加減な
ヘルパー事業所という印象だった。親元で、「自立」の何たるかも知らなかった私は、
一長一短あるいくつかの事業所の一つとして便利に使っていた。その後、すったもんだあ
って前身団体の中心メンバーだった数人がぶるーむを立ち上げる。今回はこの件は割愛さ
せていただく。いつか設立時(初代)の代表である田中雄平 自ら語ることがあるかもしれな
いし、ないかもしれない。

私は新団体ぶるーむのヘルパーステーションあいえるの利用者となり、しばらくしてぶ
るーむのメンバーに加わった。当時のぶるーむの使命は前身団体から引き継いだ「お客様」
に迷惑をかけないように派遣を回すことにあった。また、自立生活センターを学ぶ必要も
あった。設立メンバーの中には自立生活センターの活動や支援のやり方を知る者は誰もい
なかった。代表田中も例外ではない。学ぶ機会もなかったと聞いているが、理由は…と、
まあ、ここは曖昧にしておく。

とにかく、そういうわけで、私は全国を回って自立生活センター(運動)を学ぶことにな
った。しばらくしてわかったのは、ぶるーむはまったく自立生活センターとしての体をな
していないということだった。ここで最初の分岐点があったように思う。すなわち、これ
まで通り派遣事業所としてだけ存在するのか、自立生活運動をやる運動団体となるのか、
である。代表田中は後者を選んだ。司法書士と兼業をしていた田中に変わり、私が全国で
勉強し、学んだことをぶるーむに持ち帰ることを田中と約束した。

翌年、私は実家を離れて自立した。ひとり暮らし＝自立ではないが、ひとり暮らししない
と自立できない障害者もいる。そういった仲間の支援のため、自らひとり暮らしする
必要があった。当時、まだ北九州市では24時間の介護保障を受けている障害者はいなか
ったから最初の一人となった。行政交渉は難航したが、いろんなアドバイスを
得て成功した。以降、ぶる一むから長時間介助を受けて自立する障害者が増えていく。親元から自立し
た高位頸髄損傷者や施設から自立した障害者と次々にひとり暮らしをはじめた。多くの
障害者が自由な制約のない生活をぶる一むに求め、ぶる一むのスタッフの誰もがそれに
応えるべく必死になった。そして、このことがやがて大きな軋轢を生むことになる…。

えいじ だいにかい いただきます栄二 第二回

この前、サーカスに行くので、友達も待たせているのもあるし、サーカスの始まる時間に
まに合うようにしたいと思って、電車に乗ろうとしたら、慌てていたので間違えて駅員が来
る前に、少し早い目的地に止まらない電車に乗ってしまい、他の駅で目的地に止まる電車に
乗り換えて最初の予定より、一時間ぐらい遅れてしまった。

これから慌てないで少し考えて乗る予定の電車に乗った方がいいと思いました。それと
駅員が電車が来る前に、間に合わなくても、電車に乗れる方法を考えないといけないの
かなって思いました。

それと、サーカスを見てつまらなかったとは思わなかったけど、そんなに自分は盛り上がる
ことがなかったから、もう今回だけでいいかなってつい思ってしまいました。まあ滅多に
あるものじゃないんだから、まあいい経験だったのかな？

でも、帰りに食べたちゃんぽんを残したのが、もったいなかったなあって今も思い出す。

まつきえいじ
松木栄二

Oh-Life

ぶるーむ.com40号特別編

K II

ぶるーむ.com ももう 40号になりました。僕は、ぶるーむ.com の編集に携わって7年になりますが、とても感慨深い気分です。さらっと7年と書きましたが、携わっている期間の長さ自分に驚いています。

最初は、原稿の誤字・脱字チェックなどの簡単な作業からでしたが、徐々に色々な作業を任せてもらえるようになりました。これらの作業も苦になりませんでした。それから約1年後、自分の連載を書けるようになった時は本当に嬉しかったです。

今でこそ、文章を書くことが好きで、ぶるーむ.com の編集に携わっている僕ですが、子どもの頃は文章を書くことがとても苦手でした。ちょうどこの時期(夏)になると、宿題の読書感想文に苦戦して、母に手伝ってもらったことを思い出します。そんな僕が一人団体の会報の連載や編集を担当するまでに成長するとは・・・。少しは当時の母のイライラも報われたのではないかと思います。

次に、僕の連載「Oh-Life!!」についてです

実はぶるーむ.com20号の記念記事にも似たようなことを書いているのですが、基本はその頃と何も変わっていません。僕のオタク生活などを通じて「こんな障害者もいるんだ」ということを知ってほしいと思っています。最近、オタク生活に関係ない話もあると思うのですが、そこは、僕ももうアラサーなのでオタク生活以外のことも書きたくなったということでご理解ください(笑) せっかくの機会なので、僕が「Oh-Life!!」を書いていく中で感じたことを少し真面目に書いてみようと思います。

僕の連載では、僕の買い物や遠出でのことが話の中心になることが多いです。なので、外出のイメージが強いせいか「一歩外に踏み出せる勇気が〜」的な感想をいただくことがあります。これは、とても有難い感想なのですが、僕は少し返答に困ってしまいます。それは、僕の外出において「勇気」という言葉は少し的外れだと思うからです。

確かに、初めてヘルパーさんと外出した時や、知らない場所に遠出をした時は、色々不安に思うこともありました。ですが、「遊戯王カードを買いたい」「ライブに行きたい」などといった自分の欲の方が不安よりも勝っていました。その時の僕の心に「勇気」という言葉は全く無かったのです。なので、「勇気を持って外に一步踏み出した」というよりも、「自分の欲望に外へ引きずり出された」という方が正しいのではないかと思います。

これは僕の経験なのですが、自分のやりたいことをしようとする時に、「夢が〜」・「勇気を〜」・「〜のために」というような、その行動に対して妙な前置きを付けられることが多い気がします。確かに、夢や勇気も大切だし、何かのために行動することはとても尊いことだと思います。ですが、この前置きが無いと僕はやりたいことができないのでしょうか。僕的には、「ただ単に」・「なんとなく」・「淡々と」やりたいことができる方が好きなのですが・・・。

この記念の記事を書くにあたって、「僕のぶるーむ.com へのこだわり」的なことを書くと思ったのですが、最初は全く書けませんでした(笑) 正直、今でももやっとしていますが、「書いてくれる人たちがその時に書きたいと思うことを書いてほしい」とは考えています。

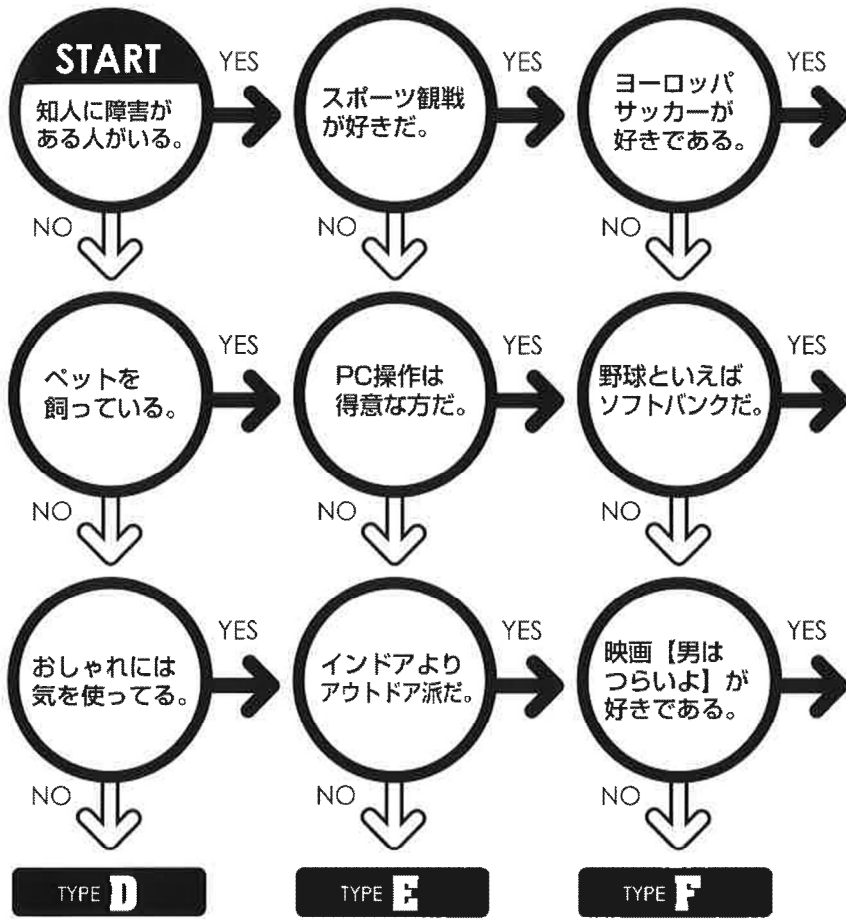
楽しかったこと・辛かったこと・難しいこと・なんとなく書いてみたいこと、何でも良いです。まあ、何でも良いといっても、編集担当が解読できる内容であってほしいとは思いますが(笑)

最後になりましたが、ここまでぶるーむ.com が長く続いたのも、原稿を書いてくれる人たちや印刷・発送などを手伝ってくれるスタッフ、読者のみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。そして、これからのぶるーむ.com をよろしくお願いします。

ぶるーむチェック

みんなのなかに必ずある『ぶるーむ度』を正しくチェック。あなたにあったアドバイスは？

Check your bloom



TYPE **A** のあなたは... ぶるーむ度 ▶ **100%** 😊😊

ぶるーむで働く為に生まれてきたといっても過言ではないあなた。ぜひぶるーむでパロンドールを目指せ！

TYPE **B** のあなたは... ぶるーむ度 ▶ **97%** 😊😊

なぜ今までぶるーむにいなかったのか不思議なくらいのあなた。一緒に「熱男」と叫ぼう！

TYPE **C** のあなたは... ぶるーむ度 ▶ **88%** 😊😊

えっ？ぶるーむで働きたい？それを言っちゃあおしまいよ...ぶるーむにさくらを探しにいこう！

TYPE **D** のあなたは... ぶるーむ度 ▶ **62%** 😊😊

NO続きでぶるーむにあってないと思ってるでしょ？心機一転、ぶるーむで新しい趣味の仲間を作ろう！

TYPE **E** のあなたは... ぶるーむ度 ▶ **59%** 😊😊

ぶるーむの事務所は屋根、壁、電気、水道が完全完備！インドア派なあなたもこれで納得、大安心だ！

TYPE **F** のあなたは... ぶるーむ度 ▶ **46%** 😊😊

ぶるーむとは個性。そんなあなたの個性をこれからのぶるーむで一緒に活かそう！とにかく待ってる！

◀◀年間 Bloom's events 行事▶▶

A. 初詣で JANUARY

佳い一年を願いました。



う〜ん... 小吉かあ... ツーショット撮ってえ〜！ 今年も一歩ずつ日進月歩

B. いちご狩り MARCH

甘くて大きいのはどれかな？



毎 獲ったど〜!! いちごばたけと乙女たち♥

C. 海 Bキューブ JULY

肉も焼いて肌も焼いちゃうぞ!!



バスに乗って海へGO! 浜辺で記念撮影したぜ! 笑顔満開まさにぶるーむ

D. おまつり AUGUST

夏を満喫しました。



みんなでかんぱ〜い!! ペアルックからの〜...

E. 介助者研修 EVERY MONTH

勉強も真面目にやるよ!



「戸田くん、どう思う!?!」 まじめな顔・顔・顔... 話し合いって大切だね。

F. 感謝祭 DECEMBER

1年のシメもしっかり楽しみました!!



ザぶるーむソウルバンド サンタさん ありがとう! みんなでお食事

い き ひと こと 意のまま気ままな独り言

ソノ

「寒い、寒い、寒い…」と言ったところで、「…(うん)暑い」何も変わらないですね、あははっ。まあ見た目通りと言いますか、寒いよりは暑いほうが好きなんですけど、本当に異常な暑さなのでそうも言ってもらえなくて…む、無理せずにいきたいところです。

てなわけで、最近とある障害者の人とやり取りをさせてもらっている話についてなんですけどね。その人はどちらかと言うと、助けを求めることが多い経験の浅い人って言うたらわかるかな、まあそんな人です。その人が言っていることっていうのが、日頃の置かれている状況に対して、できないことへの悩みだったり、周りの人に対しての愚痴だったりするんですけどね、言っていることは間違いではないし理解できちゃうわけです。

だから、逆に周りの支援している人(健体者スタッフや軽度の障害者もしくは経験豊かな障害者)の話聞いてみるとどうなるかということなんだけど。その人の日頃からの状況に対して、何度も何度も手伝ったし働きかけもしたけど、本人の努力が足りないところもあるとか甘えているところがあるとかで、こちらが言っていることはこちらで、まあ間違っていないというか理解できてしまうというかね。

だから、立場が違う両者の話ではあるんですけど、それぞれの視点に立って見るとお互いの主張が通ってしまうので、結局のところ水掛け論でしかなく進んでいけないんですよ。というより、進める気をお互いが持っているかということそれも微妙なところもあって、つまり、実際の問題はその「進める気」があるかどうかなんだろうなと思うんです。

例えば、障害者側が「私には言語障害があるからできない」と言ったとします。これに対して、周りも『それを求めるのは言語障害があるから難しいよね』と考えて求めなかった場合、お互いが「できない」と決めることが合致するので、なんら違和感がないように感じると思います。でも、これが落とし穴で、進んで行かないことを作り出していたりするんです。

どういうことかと言うと、まず障害者側から見てみると「言語障害があるから私にはできない」と言った中には、本当にどうやってできないこと（例えば早口言葉）を「できない」と言っているときもあれば、できるかできないかを試したこともないこと（例えばナンパ）を「できない」と決めつけて何もわからずに言っているときや、言語障害があることと全く関係のないこと（例えば携帯操作機能）を「できない」と障害のせいにして、ただ面倒くさいことを隠して逃げているときなどなど、いろいろな意味を持つ「できない」を同じ言葉を通して言っていて、本人もできることとできないことが何なのかをわかっていなかったりするんです。

つまりは、このいろいろな「できない」をじっくりと紐解いてあげないことには「やればできること」も見えてこないし、これからにも繋がって行かないんです。だから、まあ紐解いてあげた上で、できることは経験を積ませて行けば進んでいくわけですけど。

でも、なかなかそうは上手いことにならないですかね？それって、周りの支援している人の『それを求めるのは言語障害があるから難しいよね』という言葉に隠された意味にあると思うんですが、どうでしょう。実はこの言葉の中にも、いろいろな「できない」が含まれていると感じていて、本当にどうやってできないことを「できないだろう」と言っているときもあると思うんですけど、そうではなく、できるかできないかを周りも試したこともないことなのに本人の話から「できないよね」と判断したり、「求めたら難しい。かわいそう」と決めつけて、「できないだろう」と言っているときがあったり。

でも、これは支援する人が言語に障害があるという事実に気持ちが引っ張られてしまって判断が歪んでいるってこともあるし、障害者側のあまりの経験のなさに、一つ一つ教えることが面倒くさいとか、付き合える時間に余裕がないとか、そんなときにも「できないだろう」と決めつけることで、うまく付き合うことから逃げているときがあるなど、こちら側の都合をおもいきり隠しているんですよ。

要は何をどう進めていくかがその人の状況や都合に合わせたものではなく、周りの支援している人の歪んだ判断で決められたり、都合に合わせられるかどうかで決まっちゃうってことだから、上手いことならないのは当然だろうし、実は違和感の固まりなんだってことなんですよね。

だから、障害者側が「できない」という言葉をわからないことでも言っても、逃げているときに言っても、どんな意味を持って言っても、それが支援する側の歪んだ物差しで「難しいよね」と判断されたら、本人の状況とは関係がないので、どの「できない」も本人の立場からしたら、同じ「できない」となってしまう、やればできるところでは試すにも至らないわ、逃げたいときには逃げられるわで、成長として進んでなんていかないし、たとえ、この歪みを支援する側が取り除けたとしても、一つ一つ教えるには時間がないこともあって、中途半端にしか関わりを持ってないのが現実なので、気持ち程度やらせてみてはみるもの付き合っははいけないから、「これ以上はかわいそう」とか「これは難しいだろう」とか適当な理由をつけては『できない』ことにして、気づかないうちに歪みのほうに寄っていくなんて話はよくあるみたいで。

でもって、この気づかないうちに歪んでいくのも、そんなに時間をかけずに作った自分たちの用意した場の中で成長していく者が少なからずいるからでもあるんですよね。そこで成長した障害者は「やる気がある」とか「運動に向いている」とかで拾い上げられて伸ばされていき、成長していかないものには、「これ以上はかわいそう」とか「これは難しいだろう」とかっていうさっきの適当な理由と、さらに本人の「努力が足りない。気持ちが足りない」とかも付け加えられて言われ、あとは介助者に任せっきりで一人暮らしだけを淡々としてもらおう都合のいい仲間みたいなね。

まあ一人暮らしをするだけでも、殺されるかもしれない世の中であって、意味はあるし大事だとは思うんで否定とかではないんですけど、自分たちの育てる力の無さを棚に上げて本気で向き合うことをしないのもなんだかいけすかないなと。

でもって、介助者もどう考えるんでしょうね。まあ自分らもでかいことは言えたもんじゃないですけど、任せられた介助者にとっては痛い話だと思っんですけどよ。なぜなら、支援している人の判断や都合に振り回されるのは障害者じゃなく、一番の犠牲を介助者である自分自身が被ることになり兼ねないんですから。あっても、どうなんだろう。もし被っていてもそれが介助者の仕事なんだと思っっていて気づくことはないのかもしれないですね。

これはもう、歪んだ物差しのほうが社会の中では一般的な理解だということもあるので、『できないかわいそう』な障害者を前にしたら、介助者も早口言葉をやってあげたり、代わりにナンパをしてあげたり、携帯操作機能まで覚えてあげたりと、一対一ならなおのことそうやってできたようにするしかないですよ。これをお世話してもらっているとかが言ったりするんじゃないんですかね。それはそれでいいならいいんですけど、たまに『周りの苦労本人知らず』で、障害者本人が「できる」と思っっていることに大きなズレがあって、そこに付き合うはめになることはありません？

例えば、フランス料理の作りかたを見て聞いて作れると思った障害者が、資料と材料だけ用意して、あとはそのときの介助者に丸投げして、でもそのときの介助者がフランス料理を作れなくて、そこにいた周りがてんやわんやで手伝えることになったとか。

これって、「できたようにする」と「できるようにする」という、これはまた周りが求める歪みのズレから始まることだったり、「できない」のときと同じように、両者のいろいろな意見が混ざり合った「できる」という部分がうまく合致しちゃうことで起こるズレが進まない状況を生み出したことが、もともとの原因で、自分で何ができることなのかを理解できていないんだから、そりゃズレますよね。

だから、「できない」と同様に周りの人がその人の「できる」ことに関しても紐解く必要があるってことだし、紐解かずにわからないままの付き合いしかしていなかったら、つけがとんでもないところから返ってきたりするってだけなんですけど。

とまあ長々とくどくど書いてきましたが、つまりは、どちらかが「できない」と決めつけた時点で話は終わっていて、本当の意味で、「できる」という方向にそもそも向かっていくことはないってわけなんですよね。それを経験を積むとか成長を重ねるとか言うんですかね、きっと。だとしたら、そうはならず止まったままってことになり、取り残されていく人はどんどん取り残されていくことになるんですよね。だから、まずは何に対しても「できる前提でお互いが取り組む」というのがないと話にならないわけで。やっぱり、そこに拘り続けて向き合っていてことがあって初めて、見えてくることがあって、そうすることもしていないのに仲間だとか助け合いだとか対等だとかってというのは実に都合のいい言葉で、薄いですよ。

だから、関わりを持つってめちゃくちゃ覚悟がいることなんだなと、最近つくづく思うんですよ。それは、そのお最近、「人」に期待するって、面白いことなんだなとそう思うことがあるというか。いやまあでも、これはまた別の機会に書きますかね。で、覚悟だけのことを言えば、散々あーだこーだ言っただけなんですけど、そもそもは覚悟がいるってことのほうが、おかしいっちゃおかしいんですけどね(笑)。

とにもかくにも、個人として団体として、周りの一部であることを自覚しながら、あそこはあれでいいとか、あそこはまだあれじゃだめだとか、そんなことを改めて思ったって話でした。

かつどう ほうこく
活動報告

へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ
平成30年5月~平成30年7月

がつ
5月



ピアカウンセリング集中講座⑤

ピアカウンセリング集中講座⑥

よろず!

介助者研修④A「介助後のからだのケア」

介助者研修④B「介助後のからだのケア」

りじかい
理事会

がつ
6月



すいしんぎょうかいけんしゅう
推進協会研修

がつ
7月



じりつせいかつ
ながさき自立生活センターこころ
ILP出前講師

よろず!

ぎえんきんほうこく
義援金報告

へいせい ねん がつ お にしにほんごうりゅう
ふる一むでは平成30年7月に起こった西日本豪雨
さいがい しえん ぎえんきん つの
災害の支援に義援金を募りました。
がつ にち あつ ぎえんきん いんりょうすい
8月7日、ふる一むで集めた義援金¥53,000を飲料水
など こうにゅう つか ほしぞら かい げんち かがた
等の購入に使ってもらい、CIL星空を介して現地の方々
におく
に送っていただきました。ご協力いただいた皆さま、
ほんとう
本当にありがとうございました。

いわの 直子
いしだ 悟朗
たかさき 陽子
さとう 一洋
ごごう のりみ
後郷 法文
たかお りゅうた
高尾 竜太
ときえだ たろう
時枝 太郎
なかもと あつし
中本 篤
たなか ゆうへい
田中 雄平
くぬぎ ようへい
久貫 陽平
くぬぎ まい
久貫 麻衣

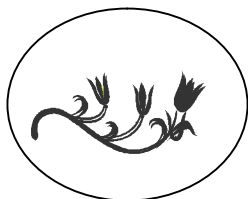
すほ 幸典
えはら けいこ
江原 景子
たなか あいか
田中 愛佳
やまぐち りえ
山口 梨絵
やまむら けんたろう
山村 健太郎
たかぞの やすみ
高園 康文
やまもと たみこ
山本 多美子
にしより みよこ
西頼 美代子
つしま たかよ
津嶋 孝代
しらくら るる
白倉 瑠々

けいしょうりやく じゅんぶんどう
敬称略、順不同

へん しゅう こう き
編集後記

この前、久々にメロンを食べたんですが、舌がめっちゃピリピリしました。メロンアレルギーってあるんですかね？ 【K II】

■ **ロゴについて** ■



この3つが繋がったチューリップには、3J = 「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願いがこめられています。

■ **会員募集** ■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」自らが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何が重要かということが一番知っているのは「障害者」自身であると考えからです。

「自立生活センターぶるーむ」はこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員 当法人の目的に賛同し、法人の活動に責任を持って参加していただける個人の方。	3,000円
賛助会員 当法人の事業を資金面などで賛助していただける個人及び団体の方。	5,000円

【銀行振込】 銀行名：西日本シティ銀行 室町支店
 口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ 理事 田中雄平
 口座番号：1694039

編集人 連絡先 NPO法人 自立生活センターぶるーむ
 〒803-0818
 福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F
 TEL 093-562-5431
 FAX 093-583-3257
 E-Mail cil-bloom@nifty.com
 URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>

定価 100円